

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業			事業番号	019-089
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車企画推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出	
			有	取組の方向性	⑤サイクルシティとしての魅力創出			
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車利用環境計画<追補版>-重点アクションプラン-		
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	自転車活用推進法、堺市自転車のまちづくり推進条例、堺市自転車利用環境計画		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会、堺 自転車のまちづくり・市民の会等市民、事業者				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民（約82万人）及び来堺者等（不特定多数）	対象数	—	単位	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	「堺市自転車のまちづくり推進条例」及び「堺市自転車利用環境計画」の趣旨に則り、市民・事業者・行政が協働して、安全に、安心して、かつ快適に自転車を利用できる環境を整えることで、都市魅力を向上させる。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ○「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と協働で自転車のルール周知・マナー啓発及び自転車利用促進にかかる活動 ○さかい自転車リーダー養成講座の開催（自転車利用推進委員（自転車リーダー）の認定） ○堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会の開催 ○自転車通勤促進補助事業 ○次期自転車利用環境計画の策定 ○「サイクルシティ堺」推進として、自転車の歴史・文化の発信や、自転車を活用した新たな取組の実施 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	本市では市民協働での取組は進んでおり、動画制作などボランティア団体である「堺 自転車のまちづくり・市民の会」の委員が企画立案を行った。				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	計画策定支援事業者（委託）、堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会（負担金）等				
10	公民連携・協働事業	ボランティア団体である「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と協働で各種活動を実施				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	自転車の利用促進					
	当該目標を設定した理由	単なる移動手段にとどまらず、健康増進や環境保全など自転車のメリット・魅力を伝えることで、楽しく自転車を利用するきっかけ作りが重要であるため。				
	目標に対する実績	市民協働で「堺 自転車の楽校」や「SAKAI散走」の実施。また「自転車地図」の作成及びPR				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	「さかい自転車デー」 (自転車安全利用啓発) 啓発人数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	600	300	300
			実績値	197	1,104	
達成率	33%	368%				
	当該指標を選定した理由	安全・安心に自転車を利用してもらうための「安全啓発」を行う重要事業の1つであるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和2年度は100人×6回、令和3、4年度は100人×3回に設定。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業	事業番号	019-089
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	4,989	9,933	4,920	2,217	13,853	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (堺自転車まちづくり基金等)	4,700	9,883	4,537	2,200	4,500
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	289	50	383	17	9,353	
14 人件費 (b)	13,470	13,870	13,870	13,870	17,150	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	18,459	23,803	18,790	16,087	31,003	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								事業費
16 事業費内訳	堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会負担金	R3 決算	2,200	0	消耗品費	R3 決算	0	0
		R4 予算	4,500	0		R4 予算	50	50
	サイクルシティ堺プロジェクト関係委託料【新規】	R3 決算	0	0	印刷製本費	R3 決算	0	0
		R4 予算	3,000	3,000		R4 予算	25	25
	サイクルシティ堺プロジェクト関係工事【新規】	R3 決算	0	0	通信運搬費	R3 決算	12	12
		R4 予算	1,800	1,800		R4 予算	20	20
	堺市自転車利用環境計画変更支援業務【新規】	R3 決算	0	0	会場等借上料	R3 決算	0	0
		R4 予算	4,000	4,000		R4 予算	50	50
	謝礼金【新規】	R3 決算	0	0	自転車環境共生まちづくり基金積立金	R3 決算	5	5
		R4 予算	408	408		R4 予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 安全利用啓発人数	人	197	1,104
② 上記①にかかる年間経費	千円	17,120	16,087
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	86,904	14,572

備考 (算出についての説明等) 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止。安全利用啓発人数は動画再生回数。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市民団体とこれまで協働で実施してきた、自転車デーにおける安全利用啓発(令和2年度は動画視聴による啓発を実施)や、「SAKAI散走」等、集客を要する活動を中止することとなったため、事業費が減少した。自転車の安全利用や利用促進についての普及啓発活動に取り組む人材を養成する「さかい自転車リーダー養成講座」については、講座形式から教材配付に変更して実施した。また、動画視聴による啓発を継続した。コロナ禍のため、以上のようにやむをえず非対面の方法で事業を実施したが、費用対効果は上昇した。ただし、アフターコロナにおいては、どのような手法が有効か今後検討していく必要がある。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 自転車を新たな視点からアプローチし、かつ社会問題の解決にも寄与するため、令和3年度に関係部局で構成されたプロジェクトチームを結成した。プロジェクトチームで発案された、公民共創イニシアチブ推進事業である「サイクリングe散走」の企画や、令和4年度に向け、自転車に新たな視点を掛け合わせた事業を展開するための予算を確保した。また、コロナ禍においても自転車の安全利用を促進する事業を実施したことにより、市民の安全利用に対する意識を高めることで、「自転車利用環境の満足度」の向上に寄与することができた。